

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議会議員控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ <http://kurodamich.exblog.jp>



6月13日の厚生経済常任委員協議会で、「ごみの収集体制と住民への周知について」の説明があり、「燃やすぐみが週2回、午前2搬送、午後2搬送」の方針が示されました。

「燃えるごみ」は「生ごみ」が主流であるだけに、収集回数や時間帯は市民生活に大きく影響します。私(黒田)は、「協議会は、賛否を問う場ではないが、議会に説明をしたという既成事実をつくり、市民に説明するのはおかしい。この間出されていた様々な意見が計画にはまったく反映されていない。」と追求しました。



## え～生ごみの回収が午後からに？ この間の協議はどこに生かされているのか・・・？



### 市民の声に 応えるシステムを

これまで市民から多くの意見、要望が出されていいます。

①今のステーション方式は、場所、ごみ当番、カラス被害など問題が大きく、できることから戸別収集するべきこと。

②「ペットボトル」「プラスチック容器包装」以外の

「その他プラスチック」を「燃やすぐみ」にするとしているが、「その他プラ」は雑プラで、重金属などの含有が多く、「健康被害」の問題や焼却炉の痛みを加速し、修繕費がかさむこと。

また、ごみ量が増え、「ごみ減量・資源化」に逆行すること。

高温焼却をすることによる温室効果ガス(CO2)や発熱の環境への影響が大きいこと。(建設地は川西)

③市内のごみは「プラスチックごみ」だけが増え続けている。「拡大排出者責任」を企業に求めること。事業系ごみ(約23%)を含む総ごみ量で市民ひとりあたりの「ごみ排出量」を出すのはおかしいこと。

④ごみ収集は、自治体固有の仕事であり、分別・減量・資源化などルールを守って協力している市民に「受益者負担」を求めるのはおかしいこと、を伝えていきます。

住民こそ主人公、新しい炉が稼働をはじめこの機会だからこそ、市民が理解・納得できる「環境行政」にむけて市民の声をしっかりと伝えていきたいと思います。

これから、随時、市民への説明がはじまります。



埼玉県川口市  
子育て施策など行政視察

6月定例議会で私(黒田)は、3つのテーマで一般質問をし、厚生経済委員会付託の3件の市民請願に対しては、採択にむけて奮闘。

随時、お伝えし、皆さんと一緒に川西市の税金の使い方や自治体としての役割を考えていきたいと思っております。

**後期高齢者医療廃止請願委員会、3対4で不採択**

怒り沸騰の「後期高齢者医療」。この中止、廃止を求める意見書を国に提出する請願を厚生経済委員会で審査。

3月議会では、採択は共産党だけでしたが、世論の盛り上がりの中で今回、安田忠、津田両議員も賛成に。宮路、大矢根、中礼、西山各議員が反対、不採択に。20日(金)最終本会議で決まります。

**「子ども医療費の無料化」  
請願は、継続審査に**

7月議会では、採択は共産党だけでしたが、世論の盛り上がりの中で今回、安田忠、津田両議員も賛成に。宮路、大矢根、中礼、西山各議員が反対、不採択に。20日(金)最終本会議で決まります。



7月から実施予定の「留守家庭児童育成クラブ」の6時30分までの延長保育」が、アンケート調査の結果を踏まえ、16校中わずか6校でしか実施しないことが明らかになりました。

市は、「集団保育なので5人以上の希望がないと実施しない。指導員を2人つけるので、費用対効果の問題もある。」としているものの、アンケートでの希望者の60人のうち35人しか「延長保育」を受けられないことになりました。中には、東谷小学校のように市内一番のマンモス校でありながら、希望者が「4人」のた「実施しない」ことになっています。

「子どもが安全に生活できる場所」であるクラブは、指導員の先生達が、子どもにあった保育に配慮されていること。今、子ども達を取り巻く状況から、危険の回避のためにも「希望者が

留守家庭児童育成クラブ...6:30までの延長 16校中15校で希望があるのに、6校だけの実施が明らかに

毎月の宣伝・署名活動。この間は「後期高齢者医療制度廃止を求める」請願署名にこだわっています。「わしは、共産党は嫌いやけどな」と男性。「あんた、よう、がんばってるから」と女性。怒りや不安の声は一杯です。「恩をただで返すとは、この事や」「増税・増税の次にこれや」「何考えてんねん」「ひどい国になったもんや」「年寄りいじめて何がええねん」「国民の姿が見えんようになったら終わりや」。

この日は、「岩手・宮城内陸地震の救援募金」もしました。人の温かさや支えを実感します。優しさを忘れた政治は変えなければ...。

(この間、中国四川省大地震・ミャンマーサイクロン被害への救援募金22012円は振り込みました。)

「費用対効果」「受益者負担」という言葉を当たり前のように使いますが、「子育て」や「福祉」「教育」は、「受益」ではありません。「次代への投資」として「自治体がする事業」としては当然であることを徹底して訴えました。

留守家庭児童育成クラブ...6:30までの延長 16校中15校で希望があるのに、6校だけの実施が明らかに

毎月の宣伝・署名活動。この間は「後期高齢者医療制度廃止を求める」請願署名にこだわっています。「わしは、共産党は嫌いやけどな」と男性。「あんた、よう、がんばってるから」と女性。怒りや不安の声は一杯です。「恩をただで返すとは、この事や」「増税・増税の次にこれや」「何考えてんねん」「ひどい国になったもんや」「年寄りいじめて何がええねん」「国民の姿が見えんようになったら終わりや」。

この日は、「岩手・宮城内陸地震の救援募金」もしました。人の温かさや支えを実感します。優しさを忘れた政治は変えなければ...。

(この間、中国四川省大地震・ミャンマーサイクロン被害への救援募金22012円は振り込みました。)

「費用対効果」「受益者負担」という言葉を当たり前のように使いますが、「子育て」や「福祉」「教育」は、「受益」ではありません。「次代への投資」として「自治体がする事業」としては当然であることを徹底して訴えました。

本当に福祉のため? / また増税?

# 20年目の消費税 Q&A



**Q** 消費税はいつ、どうして導入?

**A** 消費税は竹下内閣、橋本内閣時代の九七年四月一日、3%で導入されました。いずれも、福祉のため「が口実」でした。村山内閣時代の九四年に3%から5%への引き上げが決まりました。

**Q** また、増税の大合唱。どうして?

**A** 財界や政府・与野党に一部商業メディアも加わって、消費税増税の大合唱です。消費税を三分の一から二分を二テタ(10%以上)にすることは、当たり前か? のような議論がまかり通っています。口実にされているのが、またも社会保障ですが、それも社会保障の理由となっています。

**Q** 「福祉」のためというけど本当?

**A** むしろ福祉どころか後退。医療、年金の改善が続いていません。四月から実施されようとしている後期高齢者医療制度も、強い怒りを呼んでいます。

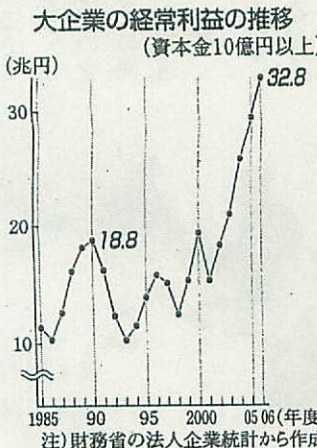


(注) 2005年度までは決算額、06年度は決算速報値、07年度は当初予算見込み額。消費税の地方分は、96年度までは消費譲与税、97年度からは地方消費税。法人3税は法人税、法人事業税、法人住民税。



では、消費税による税金はどこに消えてしまったのでしょうか。八九年から二〇〇七年度までの消費税収は累計で約百八十八兆円です。一方、同時期の法人三税(法人税、法人事業税、法人住民税)の減収は累計で約百五十九兆円です。消費税は、ほとんどが法人税の減収分の穴埋めに使われた計算です。

## 大企業に負担求めず



(注) 財務省の法人企業統計から作成

**Q** 消費税のほかに福祉財源はないの?

**A** 日本共産党は消費増税に頼りたくありません。浪費を抑制し、社会保険の財源を生み出せようと考えられています。

**Q** 軍事が「聖域」扱いって?

**A** 日本の軍事費は五兆円近く。憲法九条で戦争放棄、戦力不保持を定めた国として異常です。米軍再編経費は別枠扱いです。日本負担は三兆円、グアム移転だけで七千億円とされています。



**清流 濁流**  
三年前、小泉首相は「郵政を民営化すれば、ほとんどの問題は解決する」と、ペテン師まがいの議論をふりまき、郵政民営化を強行しました。しかし、問題は「解決する」ところか、道徳、年金、医療とインテキ「改革」の矛盾が一気に噴出し、国民の不安はいまや頂点に達しています。ところが、自民党と「消費税引き上げ」の大合唱です。では、消費税率を引き上げれば本当に年金も医療の問題も解決するのでしょうか。答えは「いいえ」です。そもそも一九八九年に最初に消費税が導入されたときも「少子高齢化社会の社会保障財源」といふふれこみで「谷垣自民党」といふふれこみで「社会保険」した。ところが、この時も医療の問題も解決するのでしょうか。答えは「いいえ」です。そもそも一九八九年に最初に消費税が導入されたときも「少子高齢化社会の社会保障財源」といふふれこみで「谷垣自民党」といふふれこみで「社会保険」した。ところが、この時も医療の問題も解決するのでしょうか。答えは「いいえ」です。そもそも一九八九年に最初に消費税が導入されたときも「少子高齢化社会の社会保障財源」といふふれこみで「谷垣自民党」といふふれこみで「社会保険」した。ところが、この時も医療の問題も解決するのでしょうか。答えは「いいえ」です。